

三原市久井歴史民俗資料館 vol.11

モーモー通信



♪



しわモ～すっきり♪アイロン

衣類のしわを伸ばす道具といえばアイロンです。しわのない服を着ると見た目も心もすっきりしてきちんとした印象ですよ♪それは今も昔も変わりません。布のしわは、しめらせて熱を加えると伸びます。みなさんが現在使われているアイロンですが、鉄を意味する「iron」が語源で、明治時代に外国から輸入された炭火アイロンが進化したものです。今のような電気ではなく、炭火で金属を熱くして使っていました。今回はアイロンの歴史をご紹介します♪

【火のし】

1930年代ころまで使用

中に炭火をいれて、その熱によりしわを伸ばします。平らな底で、鍋のような形をしています。こてよりも広い部分のしわを伸ばせました。平安時代には、貴族のふとんを温める道具としても使われたといわれています。



【こて】

1930年代ころまで使用

布のこまかな部分のしわ伸ばしや、折り目つけなどにもちいられました。先の金属をいろいろや火鉢ひばちなどの炭火にさしこんで熱して着物にあてて使います。あてる部分の布はしめらせておきました。



【炭火アイロン】

1930年代ころまで使用

鉄でできており、現在のアイロンと同じような形をしています。中にいれる炭火の熱と、鉄の重さで布のしわをのばしました。明治時代になって、洋服を着る習慣とともにイギリスから伝わりました。



すごーい！！

えんとつや穴から熱とけむりを逃がしたよ。空気をいれて、火を消さない役割モ～



